

マルコの福音書 1章40-45 節 追放された者を憐れむ

今日はマルコ書の学びに戻り、第1章の最後の出来事を見ていきましょう。これ以前に何が起こっていたかを思い出してください。イエスはペテロの義理の母を癒やされました。そのイエスの癒しを求める大勢の街の人たちが彼のもとに来ました。あまりにも多くの人々が癒しを求めて押し寄せたため、悔い改めと信仰を呼びかけるというイエスの本来の目的から外れてしまいました。そこで、イエスはそのカペルナウムの町を去り、ガリラヤの広い地域を回って悔い改めと信仰の福音を宣べ伝えました。ガリラヤの町々を旅した正確な時系列は知らされていませんが、この次の出来事はその時期に起こったと見るべきでしょう。マルコによる福音書1章40節から45節にあるこの癒しの物語は、イエスが行った多くの癒しの一つとして読み流され、私たちへのより大きなメッセージを見逃してしまいがちです。そのメッセージとは、社会が追い出した人々のためにイエスは来られたということです。そこで今朝、この物語を読み、この出来事がどれほど重要な意味を持つのかを本当に理解しましょう。**マルコの福音書 1章40~45節 40 さて、ツアラアトに冒された人がイエスのもとに来て、ひざまずいて懇願した。「お心一つで、私をきよくすることがおできになります。」⁴¹ イエスは深くあわれみ、手を伸ばして彼にさわり、「わたしの心だ。きよくなれ」と言われた。・⁴² すると、すぐにツアラアトが消えて、その人はきよくなった。⁴³ イエスは彼を厳しく戒めて、すぐに立ち去らせた。⁴⁴ そのとき彼にこう言われた。「だれにも何も話さないように気をつけなさい。ただ行って、自分を祭司に見せなさい。そして、人々への証しのために、モーセが命じた物をもって、あなたのきよめのささげ物をしなさい。」・⁴⁵ ところが、彼は出て行ってふれ回り、この出来事を言い広め始めた。そのため、イエスはもはや表立って町に入ることができず、町の外の寂しいところにおられた。しかし、人々はいたるところからイエスのもとにやって来た。**

ここでは、イエスがハンセン病の男を癒しておられます。ここでまず見ていただきたいのは、イエスが軽蔑を憐れみに置き換えておられるということです。このらい病人はすでにイエスのことを知っていて、直接イエスのところに来て、彼と話ができるほど近づいて、40節でこう言っています。**お心一つで、私をきよくすることがおできになります。**らい病を治療可能な疾患として認識してる現代の私たちの状況では、このことがどれほど信じられない出来事であったかを見過ぎてしまうでしょう。新型コロナウイルス感染症を経験した後ではそれほどではないかも知れませんが、それでも私たちは、社会的観点からこの男がこれ程までにイエスに近づいたことを、重要な出来事としてとらえる必要があります。ハンセン病という病名は、現在ハンセン病として知られているらい病だけでなく、イエスの時代にはあらゆる皮膚病を意味していました。しかし、これらの皮膚病、特に今日私たちがハンセン病と呼んでいる疾患は、治療が非常に難しく、人的接触によって容易に感染してしまうため、これらの病気にかかった人々には、本邦においてはらい病予防法、等の特別な政策や規則があり、基本的に社会から追放されていました。

レビ記の13章と14章は、伝統的にハンセン病と呼ばれる皮膚病と、イスラエルの人々がその病気にどう対処すべきかの記述に当てられています。レビ記13章には、この病と診断された人が、他の人に病気を移さないためにすべきことが述べられています。**レビ記 13章45-46節 45** 患部があるツアラアトに冒された者は自分の衣服を引き裂き、髪の毛を乱し、口ひげをおおって、『汚れている、汚れている』と叫ぶ。⁴⁶ その患部が彼にある間、その人は汚れたままである。彼は汚れているので、ひとりで住む。宿営の外が彼の住まいとなる。

旧約聖書の民法では、ハンセン病患者は意図的に近寄りが見えるようにし、口を覆って人々に"汚れている"と警告することになっていました。イエスの時代までに、ユダヤ教の宗教指導者であるラビたちは、何世紀にもわたって、これに非常に具体的な規則を加えました。らい病患者は、誰からも50歩離れて立たなければならないと決めました。らい病患者が家に入ればそこは立ちどころに汚されたことになり、たとえ木の下に立っただけとしても、その後その木の下に立つ者は汚されてしまうのです。ある注釈者は、(ハンセン病の)結果として彼らに課せられた判決は、彼らの名前、職業、習慣、家族と交わり、礼拝する共同体を奪った、と言っています。ハンセン病患者に関する指示の目的は、当時、社会的に非常に感染力の強かった病気から人々を守ることにすぎませんでした。ハンセン病患者に対する社会的な軽蔑を生み出しまし

た。ハンセン病患者ほど社会から恐れられ、軽蔑された者はいませんでした。ですから、この男がイエスに近づくことは、当時の社会ではおそらくイエス以外の誰にとっても重大な侮辱となったでしょう。しかし、社会の他の人々が示す軽蔑の代わりに、イエスは41節で憐れみをもって応えられました。**41 イエスは深くあわれみ、手を伸ばして彼にさわり、「わたしの心だ。きよくなれ」と言われた。**社会から拒絶され、追放されたこの人に、イエスは憐れみを示されました。聖書の英語訳版によっては、イエスは憐れみの代わりに怒りに動かされた、と記述されており、誤ったと思われる古い言葉が使われています。もしその訳が正しければ、文脈からは、この男を拒絶した社会、あるいはこの男の状態を招いた世の中の罪に対する怒りであり、イエスに近づいた男に対する怒りではないことは明らかです。少なくとも一つの現代英語版の聖書ではそのように訳されているので、ここではそのことを述べたまでです。しかし、これはイエスがこの男を憐れんでおられると理解するのが一番でしょう。社会は、何の落ち度もないのにこのような状態に陥ったこの人を拒絶したのです。もちろん、同じような拒絶を経験している人は、今日の世界にも大勢います。国によっては、人種や国籍によって、より大きな社会から拒絶されるべき人物としてマークされることもあるでしょう。世界中には多くの紛争による難民が存在し、彼らを受け入れてくれる定住地を見つけることができないかもしれません。多くの国に不法滞在の外国人がいますが、彼らが祖国を離れようとする理由などお構いなしに、彼らは社会から拒絶されています。このハンセン病患者のように、多くの人が拒絶反応を示すような病状を抱えた人たちがいます。寿町にあるドヤ街の超格安住宅や簡易宿舎に住んでいる人や、ここ横浜の関内近辺に住んでいるホームレスの人たちも、本質的に社会から拒絶されています。イエスはそのような人々すべてを憐れんでおられます。救い主がそのような憐れみを示してくださるのであれば、キリストに従う私たちも同様に憐れみを示すべきです。そうする機会がいつも与えられでしょうか？しかし、そのようなとき、私たちは憐れみの心で応えているでしょうか？

もちろん、イエスの憐れみがこの人の癒しに繋がりました。42節には、

42 すると、すぐにツアラアトが消えて、その人はきよくなった。とあります。この清い、きよめられる、という側面は、この出来事にとって重要です。ハンセン病以外のすべての病気は、癒しという観点から語られています。例えば、マタイの福音書 4章24節

24 イエスの評判はシリア全域に広まった。それで人々は様々な病や痛みを苦しむ人、悪霊につかれた人、てんかんの人、中風の人など病人たちをみな、みもとに連れて来た。イエスは彼らを癒やされた。

ですから、悪霊を追い出すことも癒しという観点から考えますが、ハンセン病が言及されるときはいつも、清めという観点からです。マタイ10:8は、最初のフレーズでこう言っています。マタイの福音書 10章8節

8 病人を癒やし、死人を生き返らせ、ツアラアトに冒された者をきよめ、悪霊どもを追い出しなさい。あなたがたはただで受けたのですから、ただで与えなさい。

レビ記でも、ハンセン病は癒すというより、清める必要があると語られていました。このらい病の異なる側面は、罪の性格を見るのに役立ちます。イエスの時代にも、癒しにつながるさまざまな種類の薬がありました。しかし、ハンセン病には治療法がなく、病気の蔓延を防ぐために隔離される必要があったため、社会の他の人々に実質的に生殺与奪の権利を握られていました。私たちの罪も同じです。この世で私たちが利用できるいかなる手段によっても癒すことはできません。善い行いは、私たちの罪を癒すことも償うこともできません。正しい民族的血統を受け継ぐことも、生まれや社会的地位に恵まれることによっても、私たちの罪を克服することはできません。ハンセン病が癒やされた場合の対処の仕方にも、ハンセン病が持っていた罪を表すものとの関係が示されている。43-44節にそのヒントがあります。

43 イエスは彼を厳しく戒めて、すぐに立ち去らせた。**44** そのとき彼にこう言われた。「だれにも何も話さないように気をつけなさい。ただ行って、自分を祭司に見せなさい。そして、人々への証しのために、モーセが命じた物をもって、あなたのきよめのささげ物をしなさい。」

先に見たレビ記13章には、ハンセン病にかかった場合の対処法が書かれていましたが、レビ記14章には、ハンセン病からきよめられたと思われる場合の対処法が書かれています。レビ記14章の3節の終わりからこう書かれています、

レビ記 14章3-7節 3 祭司は宿営の外に出て行く。祭司が調べて、もしツアラアトに冒された者の、その患部が治っているなら、⁴ 祭司はそのきよめられる者のために、二羽の生きているきよい小鳥と、杉の枝と緋色の撚り糸とヒソプを取り寄せするように命じる。⁵ 祭司は、その小鳥のうちの一羽を、新鮮な水を入れた土の器の上で殺すように命じる。⁶ そして、生きている小鳥を、杉の枝と緋色の撚り糸とヒソプとともに取り、それらをその生きている小鳥と一緒に、新鮮な水の上で殺された小鳥の血の中に浸す。⁷ それを、ツアラアトからきよめられる者の上に七度かけ、彼をきよいと宣言し、さらにその生きている小鳥を野に放す。ここには罪からの清めの明確な実態の描写があります。動物のいけにえ、鳥のいけにえがあり、そして、その鳥の血をハンセン病の患部に振りかけられています。ヘブル人への手紙 9章22節はこう言っています。

²² 律法によれば、ほとんどすべてのものは血によってきよめられます。血を流すことがなければ、罪の赦しはありません。

ヒソプを含むという言葉及の中にも、罪からの赦しが描かれています。バトシェバとの罪の後、ダビデ王は詩篇51:7で祈りました、

詩篇 51篇7節

⁷ ヒソプで私の罪を除いてください。そうすれば私はきよくなります。私を洗ってください。そうすれば 私は雪よりも白くなります。

このことはすべて、イエスによって、非難が清めに置き換えられていることを示しています。ハンセン病の汚れは、らい病人を社会から断罪されるようにしました。私たちの罪は、私たちの罪に対する正当な報酬として、私たちに死を宣告します。

ローマ人への手紙 6章23節

²³ 罪の報酬は死です。しかし神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。

ハンセン病になるようなことは何もしていないハンセン病患者とは異なり、私たちは罰を受け、罪の報いを受けるべき存在なのです。しかし、ローマ人への手紙6章23節にあるように、その代価はイエスの死によって支払われ、そのおかげで私たちは、私たちが受けるべき永遠の死ではなく、相応しくない永遠の命を受けることができるのです。これによって

ローマ人への手紙 8章1節 こういうわけで、今や、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。

マルコの福音書1章で、イエスが悪霊を追い出されたときに見たように、イエスはその人に誰にも言わないように言われました。その理由はいくつか考えられますが、最後の節を読むと、その実際的な理由が明らかになります。

⁴⁵ ところが、彼は出て行ってふれ回り、この出来事を言い広め始めた。そのため、イエスはもはや表立って町に入ることができず、町の外の寂しいところにおられた。しかし、人々はいたるところからイエスのもとにやって来た。

その癒しを受けた男が多くの人々に言いふらしたため、イエスが義理の母をいやされた後、ペテロの家におられたときと同じことが起こりました。その後、多くの人々がイエスのもとへ癒しを求めにきました。ここでも同じことが起こり、今度はイエスの知らせがガリラヤ一帯に広まったようで、イエスはどの町に行っても人ごみから逃れることはできませんでした。基本的に、社会から追放されたハンセン病人を清めることによって、イエス自身が追放者となられたのでした。これはまさに、イエスがどのようにして追放された人々に救いを与えてくださるかを私たちに示しています。

キリストは、自分が追い出されることによって、追い出された人々を回復させます。おそらく2、3年の後には、これらの群衆がもはやイエスに感嘆の目を向けたり、イエスと一緒に過ごしたいと切望したりすることはなく、代わりに彼らの多くが "イエスを十字架につける "と叫んでいる者たちに声援を送る日が来るでしょう。追い出された者たちを救うために、イエスは最も拒絶さ

れる追放者となられるのです。ピリピ人への手紙2章6-8節は、イエスが私たちのためにどれほどの犠牲、どれほどの追放される仕打ちを耐えて下さったかを示しています。

ピリピ人への手紙 2章6-8節 6 キリストは、神の御姿であられるのに、神としてのあり方を捨てられないとは考えず、⁷ ご自分を空しくして、しもべの姿をとり、人間と同じようになられました。人としての姿をもって現れ、⁸ 自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にまで従われました。

このハンセン病患者に対する救い主の憐れみに注目するのは簡単です。この出来事に心を動かされるのは難しくありませんし、それは当然のことです。しかし、私たちが罪の汚れから清められる必要があることを示すハンセン病からのきよめに見られる救いのメッセージは、少しわかりにくいかもしれません。そして、キリストが追い出されたという類似性がこの物語に読み込まれていると言うのはやや深読みである事は分かっていますが、マルコはこの出来事を意図的に語っていると思います。しかし、ここから私たちが汲み取るべきことは、私たちは皆、霊的にはハンセン病人の立場にあるということです。社会的にはなく、神の聖性に照らして、私たちは皆、創造主との関係から追い出されているのです。イエスは、私たちが創造主である神との関係に戻して下さる唯一のお方なのです。その関係を断ち切った私たちの罪を贖うために、私たちの身代わりとなって耐え忍んだ末の死によって、私たちが天の父である神の息子や娘として神の家族の養子となることを可能にしてくださったのです。これは、イエスとこのハンセン病の人のように、イエスが私たちの身代わりとなってくださったからこそ可能なのです。物語の冒頭で、イエスは社会の内側にいらして、ハンセン病の人は外側にいました。物語の最後では、イエスは外の孤独な場所にいます。イエスはへりくだり、私たちの身代わりとなって十字架にかかり、私たちが罪のゆえに必要としていた新しい命、聖さ、きよめを与えられるようにしてくださったのです。あなたは、自分の罪を悔い改め、イエス・キリストを救い主として受け入れることによって、そのきよめを経験しましたか？イエスが私たちに示して下さるのと同じ犠牲的な愛をもって、他の人々を愛していますか？私たちがイエスのゆえに父なる神に受け入れられているように、私たちもイエスのゆえに社会が拒絶している人々を受け入れるべきです。そうすることで、私たちはこの世で信仰を生きながら、救い主イエス・キリストに真に従うことになるのです。祈りましょう。

Mark 1:40-45 Caring for the outcast

Today we return to our study in the book of Mark, where we come to the last event of chapter 1. Remember what has happened before this. Jesus healed Peter's mother-in-law, and then many people in the city came to him for healing. There were so many people wanting him to heal that it was distracting from his primary purpose of calling people to repentance and faith. So, he left that town of Capernaum and went around the larger area of Galilee preaching the gospel of repentance and faith. This next event should be seen as happening sometime during that period, although we are not told an exact timeline of his travels through the cities of Galilee. And in this next story of healing in Mark 1:40-45, it is easy to just read over it as one of the many healings Jesus did and miss the bigger message in it for us. That message is that **Jesus came for those who society has cast out**. So, this morning, let's read this story, and really understand how significant this event is.

Mark 1:40-45 says, 40 And a leper came to him, imploring him, and kneeling said to him, "If you will, you can make me clean." 41 Moved with pity, he stretched out his hand and touched him and said to him, "I will; be clean." // 42 And immediately the leprosy left him, and he was made clean. 43 And Jesus sternly charged him and sent him away at once, 44 and said to him, "See that you say nothing to anyone, but go, show yourself to the priest and offer for your cleansing what Moses commanded, for a proof to them." // 45 But he went out and began to talk freely about it, and to spread the news, so that Jesus could no longer openly enter a town, but was out in desolate places, and people were coming to him from every quarter. Here we have Jesus healing a man from leprosy. And the first idea I want you see here is that **with Jesus, compassion replaces contempt**. Notice the leper had already heard of Jesus and comes directly to him, close enough to talk to him and in verse 40 says, **If you will, you can make me clean**. In our modern context, it's easy to miss just how incredible this was that this even happened. Perhaps not so much after experiencing COVID, but still we need to see this man coming this close to Jesus as a significant event from a societal standpoint. The word for leprosy could stand for any number of skin illnesses in Jesus's day, not just Hansen's disease, which is what leprosy is known as now. But any of these skin diseases and especially what we know as leprosy proper today were so difficult to treat and so easily passed through human contact that there were specific rules for those who suffered from these diseases that basically made them outcasts from society.

In the book of Leviticus, two entire chapters, 13 and 14 are devoted to skin diseases, traditionally called leprosy, and how the people of Israel were supposed to handle those diseases. Leviticus 13 describes what the person diagnosed with this disease was supposed to do in order to keep from spreading the disease to others. **Leviticus 13:45-46 says, 45 "The leprous person who has the disease shall wear torn clothes and let the hair of his head hang loose, and he shall cover his upper lip and cry out, 'Unclean, unclean.'** 46 **He shall remain unclean as long as he has the disease. He is unclean. He shall live alone. His dwelling shall be outside the camp.** So under the Old Testament civil law, the leprous person was supposed to intentionally make themselves look unapproachable and warn people with a covered mouth that they were "unclean." By Jesus's time, the Rabbis, Jewish religious leaders, through the centuries had added very specific rules to this. They said lepers had to stand at a distance of 50 paces from anyone. A leper entering any house would immediately contaminate it, and even if they stood under a tree, anyone who then stood under that tree after them would be

contaminated. As one commentator put it, “the sentence imposed on them as a consequence [of leprosy] robbed them of their name, occupation, habits, family and fellowship, and worshipping community.” While the purpose of the instructions regarding those suffering from leprosy were simply to protect the people from diseases that at that time were extremely infectious in society, they created a societal contempt for those who had this disease. Almost no one was more feared and even despised by the society than those with leprosy. So, when this man approaches Jesus, this would be a serious offense to probably anyone else in the society at that time.

But instead of the contempt shown by the rest of society, Jesus responds in verse 41 with compassion. **41 Moved with pity, he stretched out his hand and touched him and said to him, “I will; be clean.”** Jesus shows pity or compassion to this man who society rejected and cast out. There is an older but likely incorrect word that is used in some translations of the Bible that says Jesus was moved with anger instead of pity. If that is the correct translation, in the context it would be anger at either the society that rejected the man or the sin in the world that led to this man’s condition, but clearly not anger at the man for approaching him. I only mention that because it is translated that way in at least one modern English version of the Bible. But it is best to understand this as Jesus having compassion on the man. Society rejected this man who through no fault of his own has found himself in this condition. Of course, there are many in our world today that experience this same type of rejection. Depending on the country, your race or nationality may mark you as a person to be rejected by the larger society. There are so many refugees around the world from the many conflicts going on, and may cannot find any permanent place that will accept them. There are illegal aliens in many countries, and with no concern as to their reason for seeking to leave their country of origin they are rejected by society. There are people like this leper with medical conditions that make many reject them. There are many living in doya-gai ultra low end, sort of skid-row, housing in Kotobuki as well as homeless people living near Kannai here in Yokohama that essentially have been rejected by society. Jesus has compassion on all of those kind of people. If our Savior shows that kind of compassion, then we as followers of Christ should show that compassion as well. Do we always have the opportunity to do that? No. But when we do, are we responding with compassion?

Of course, Jesus’s compassion led to this man’s healing. Verse 42 says, **And immediately the leprosy left him, and he was made clean.** This aspect of clean and cleansing is important to this event. Every other disease apart from leprosy was spoken of in terms of healing. For example in **Matthew 4:24 we read, 24 So his fame spread throughout all Syria, and they brought him all the sick, those afflicted with various diseases and pains, those oppressed by demons, those having seizures, and paralytics, and he healed them.** So even casting out demons could be thought of in terms of healing, but every time leprosy is mentioned it is in terms of cleansing. **Matthew 10:8** separates it this way when it says in the first phrase… **8 Heal the sick, raise the dead, cleanse lepers, cast out demons**… Leprosy was spoken of even in Leviticus as needing cleansed rather than healed. This different aspect of leprosy helps us see the character of sin. There were different types of medicinal things that could be given even during the time of Jesus that could lead to healing. But for leprosy, there was no cure, and because of how separated they needed to be to prevent the spread of the disease, they were essentially condemned to a living death by the rest of society. Our sin is the same. It cannot be healed by any means available to us in this world. Good works cannot heal

or pay for our sin. Having the right ethnic heritage or circumstances of birth or social status cannot overcome our sin.

Even in the way that leprosy was dealt with if there was healing showed the connection to representing sin that it had. We can see a hint of that in verses 43-44. **43 And Jesus sternly charged him and sent him away at once, 44 and said to him, "See that you say nothing to anyone, but go, show yourself to the priest and offer for your cleansing what Moses commanded, for a proof to them."** Leviticus 13 that we looked at earlier talks about what to do if you have leprosy, but Leviticus 14 tells us about what to do if you think you have been cleansed from leprosy. Leviticus 14, starting at the end of verse 3 says, **Then, if the case of leprous disease is healed in the leprous person, 4 the priest shall command them to take for him who is to be cleansed two live clean birds and cedarwood and scarlet yarn and hyssop. 5 And the priest shall command them to kill one of the birds in an earthenware vessel over fresh water. 6 He shall take the live bird with the cedarwood and the scarlet yarn and the hyssop, and dip them and the live bird in the blood of the bird that was killed over the fresh water. 7 And he shall sprinkle it seven times on him who is to be cleansed of the leprous disease. Then he shall pronounce him clean and shall let the living bird go into the open field.** There is a clear picture here of cleansing from sin. The sacrifice of an animal, the bird. Then you have the blood of the bird being sprinkled over the area where the leprosy was on the skin. **Hebrews 9:22 says, 22 Indeed, under the law almost everything is purified with blood, and without the shedding of blood there is no forgiveness of sins.** Even in the reference to including the hyssop, there is a picture of forgiveness from sin. King David after his sin with Bathsheba prayed in **Psalm 51:7, Purge me with hyssop, and I shall be clean; wash me, and I shall be whiter than snow.** All this goes to show that **with Jesus, cleansing replaces condemnation.** The uncleanness of their leprosy left the leper condemned by society. Our sin condemns us to death as the just wages that we deserve for our sin. **Romans 6:23 says, 23 For the wages of sin is death, but the free gift of God is eternal life in Christ Jesus our Lord.** Unlike the leper who did not do anything to cause the leprosy, we earned the punishment and deserve those wages of sin that we will be paid. But as Romans 6:23 tells us, those wages were paid out to Jesus through his death and because of that we can receive eternal life that is undeserved and unearned rather than the eternal death we deserve. Because of that **Romans 8:1 tells us, 8 There is therefore now no condemnation for those who are in Christ Jesus.**

As we saw with the demon that Jesus cast out earlier in Mark 1, Jesus told the man not to tell anyone. There could be several different reasons for this, but the practical reasons for this become clear when we read the last verse. **45 But he went out and began to talk freely about it, and to spread the news, so that Jesus could no longer openly enter a town, but was out in desolate places, and people were coming to him from every quarter.** Because the man told so many people, the same thing happened as when Jesus was at Peter's house after he healed his mother in law. After that crowds of people wanted to come to him for healing. The same thing happens here and this time it seems like the news of Jesus spread throughout the whole area of Galilee, so that any city he came to would not be a place he could get any respite from the crowds of people. Basically, by cleansing the leprous man who was cast out of society, Jesus himself became an outcast. This pictures for us exactly how Jesus provides salvation for the those who are cast out. **Christ restores the cast out by being cast out himself.** There will come a day probably a couple of years in the future, where these crowds will

no longer be looking with admiration and longing to spend time with Jesus, but instead many of them will be supporting the ones who are yelling, "Crucify Him." He will become the most outcast of all in order to save those who are cast out. [Ephesians 2:6-8](#) shows us the level of being cast out that Jesus would endure for us. [...who, though he was in the form of God, did not count equality with God a thing to be grasped, 7 but emptied himself, by taking the form of a servant, being born in the likeness of men. 8 And being found in human form, he humbled himself by becoming obedient to the point of death, even death on a cross.](#) It's easy to focus on the compassion of the Savior towards this leper. It's easy to be moved by this event and rightfully so. It may be a little less clear to see the message of salvation that is seen in cleansing from leprosy that shows our need for cleansing from sin. And I know that the analogy of Christ being cast out is reading into this story, although I do think Mark is intentional in what he tells us in this event. But what we need to take away from this is that we are all in the position of the leper spiritually. **We are all outcasts, not in society, but in light of God's holiness, we are all cast out of relationship with our creator.** Jesus is the only one that can bring us back into that relationship with God our creator. Through the death he endured in our place to pay for our sin that severed that relationship, he makes it possible for us to be adopted as sons and daughters of God our Heavenly Father. This is only possible because like Jesus and this leper, he traded places with us. In the beginning of the story, Jesus is on the inside in the society while the leper is on the outside. At the end of the story, Jesus is outside in the lonely places. Jesus humbled himself and took our place on the cross so we could be given a new life, a holiness, a cleansing that we needed because of our sin. Have you experienced that cleansing by repenting of your sins and accepting Jesus Christ as your savior? Are you loving others with that same sacrificial love that Jesus shows toward us. Just as we are accepted by God the Father, because of Jesus, we should accept others who society rejects because of Jesus. In that way, we are truly following our Savior, Jesus Christ as we live out our faith in this world. Let's pray.